

神奈川県異グ連の活動状況を伝える機関紙 <第108号>

かながわ異グ連ニュース

発行：神奈川県異業種グループ連絡会議（議長 金究武正）
 発行責任者：専務理事(事務局長) 芝 忠
 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5F
 TEL 045-633-5142 FAX 045-633-5194
<http://www.kanagawa-iguren.com>

【 今月のコンテンツ 】

- 岩手支援と下町ロケット (芝 忠) 1
- 神奈川県ものづくり技術交流会の報告(松井 利夫) 2
- 下町ロケットの書評(新井 稲二) 2、3
- かながわ異グ連会員グループ・プロジェクト状況 3、4
- 異グ連理事会の報告 5
- 産学官交流サロンコーナー 6
- かながわ異グ連ニュース引継ご挨拶<プロフィール>..... 6



岩手支援と下町ロケット

芝 忠

岩手の被災地に対する物資がどのようにお役に立ったのかと思い照会したところ、現地の声が届きました。

<岩手県沿岸広域振興局(釜石市)産業振興課松崎博善さんから> (11月2日)

「支援をいただきました企業を訪問しますと異口同音、まずは感謝の言葉が機関銃のごとく連発されます。本日も中里輪店様を訪問いたしましたが、社長様からは先ず感謝の言葉、そして復旧に向けた熱い意気込みを話されました。輪店となって居りますが、主要取引先は地元で全壊した『東部漁業協同組合』との船外機の取引が中心となっております。漁業従事者の船が殆ど流出、全壊の状態です。復旧に向けて新造船と日夜取り組んでおります。まだまだ復旧の道半ばですが、今後ともご支援をいただければ幸いです。本当にありがとうございます。重ねて心の底から感謝申し上げます。」

<振興課阿部芳肇さんから> (10月14日)

支援物資は4トントラックいっぱいでしたが、現地の協議により、全量、「水産業を支える造船関係に携わる方を中心に、一括して当方から配布いたしました。」船大工・エンジン修理・金属加工・電子機器等5社で、いずれも工場全壊や流出などの被災のもとで、プレハブや露天で頑張っています。

<関満博・前一橋大学院教授、現明星大学教授>商工金融 (2011.10)

水産業は、鮮魚で直接販売されるのは30%で、残りの70%は加工や冷凍されて販売されます。そのための関連業種すなわち湾岸魚市場・製氷施設・冷蔵冷凍庫・加工場・造船場・鉄工所・船舶無線・燃料・船舶資材等の業種が、沖合漁船漁業・近海定置網・湾内養殖漁業とともに各湾や浜ごとに、「水産業コンプレックス」をつくっています。

我々の支援物資は、産業としては「水産業コンプレックスの70%に当たる分野」の支援に貢献したということになります。阿部さんからは「次から次へと要支援企業が目に入る状況であり、機械の支援要望もまだまだ尽きません」。そして「皆様からいただいた力は確実に当地域の復興の原動力となっておりますので、今後とも温かい眼差しをお向けくださるようお願いいたします」とあります。

我々も引き続き支援を継続していきたいと思っております。また今回の岩手県側の窓口責任者である商工労働観光部商工企画室特命参事沢田修さんが、神奈川異グ連の会計担当理事杉本明子と中小企業診断士育成研修コースで中小企業大学の同期生だと判明し、20数年前の交友が復活したのも何かの縁です。

さて、皆様は直木賞受賞作「下町ロケット」をお読みにになりましたか？ 本号に新井君の書評が載っておりますが、私は感激して思わず涙を流し、何回も読み直しました。10年前に設立した「まんてんプロジェクト」参加企業のことを思い浮かべながら、宇宙開発に参画する夢を追う中小企業の姿と大手企業との関係をまざまざと感じました。その不屈な精神と懸命に努力する立場は、きっと今回の被災地での企業の経営者と相通じるものがあると思います。航空宇宙と漁業という、分野は非常に異なりますが、中小企業者の意気込みを改めて深く感動させられました。

「神奈川県ものづくり技術交流会」の報告

C&Sグループ 松井 利夫

平成23年11月9日~11日まで県産業技術センターにて平成23年度「神奈川県ものづくり技術交流会」が開催された。初日の9日の午後、平成15年から始めて今回で9回目になる「異業種交流等事例」の発表が行われた。今回は「いま、安心、安全を考える」という全体の統一テーマに沿って10件の発表が行われ、会場に集まった40数名の方々が熱心に耳を傾けていた。発表会終了後、別室で交流懇親会が行われた。



下町ロケットの書評

企業にとって必要なものとは

「下町ロケット」著者：池井戸 潤
第145回 直木賞受賞作
その部品がなければロケットが飛ばない・・・。
それでも男は夢を打ち上げると決めた！！

法政大学大学院イノベーションマネジメント研究科 新井稲二

宇宙。それは多くの技術者にとって未知の世界であると同時に、挑むべき世界であろう。今回「下町ロケット」の主人公である佃航平も、宇宙に挑戦する人間の一人である。物語の以前は技術者として、現在は中小企業の経営者として宇宙開発に携わっている。現在、宇宙について取り扱っている作品は数多い。映画に始まり、テレビドラマや漫画などは代表的であろう。そんな中でも、今回の「下町ロケット」は宇宙という世界で活躍しようとする中小企業といった切り口が新鮮である。

宇宙の語源は、紀元前二世紀に中国で書かれた「淮南子」という書物にある「往古来今これを宙といい、四方上下これを宇という。」(意識) この句より生まれた言葉である。宇宙に挑むということは、時間・空間を全て含めた限界への挑戦とも言え、開発は戦いである。本書では一見すると技術に関してのみ触れている作品かと思えるが、宇宙開発を舞台としているため機械加工対熟練工といった技術に関する話題は当然のこと、大企業対中小企業という企業経営の視点のみならず、元銀行員であった作者ならではの銀行対企業といったものまで幅広く話題としている。このため、企業経営に関する視点からも参考となる。

もちろん、企業経営という視点以外にも物語性から見ても躍動感がある作品となっている。内容について少し説明すると、物語の冒頭から大手企業から方針変換によって取引の削減を伝えられる。ここで中小企業の厳しさを伝えているが、現実には大手企業と下請けである中小企業の関係からするとあり得ない話だ、と言えない所が日本の商慣行の厳しい現実であろう。もちろん、ここでへこたれてはいられない。中小企業といえども従業員や家族がいるからである。しかし話中には、社長の家族として娘がいることがわかるのだが、娘との会話が社長とは孤独であるように感じさせられる。何のために企業経営をしているのだろうと悩むところをうまく描写している。例えば会社を手放して大金を手に入れることができる誘惑があり、佃航平の苦

悩をうまく描いている。娘との関係以外にも、話が進むにつれてバラバラになってしまう社員。結局は原点に立ち返り、大企業の宇宙プロジェクトに自社の製品が採用されることとなるのだが、企業経営は儲けだけでなく夢を追いかけることの重要性について描いており、夢の実現には社長一人ではなく従業員や家族といった仲間の支えがあってからこそ実現できるものだと実感させられる。

現実の宇宙開発の分野において、皮肉にも仲間の重要性が再認識されている。昨今頻発しているロシアのロケット打ち上げ失敗では、本来ソユーズは成功率 97%以上であったし、プログレスにおいては初の失敗となった。ロシア当局は設計や製造のミスではないとしており、優秀な技術者が引退してしまった結果、若い技術者たちが育っていないことが指摘されている。

ハイテクの塊であるロケットに仲間の絆という一見、関係の無い組み合わせが実は一番重要であるという点が、とても面白い作品である。

読まれた方の感想受付はこちらまで
masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和

12月19日より3日間連続5話
 WOWOW でドラマ放送予定
 主演：三上 博史



< かながわ異グ連会員グループ・プロジェクト状況 >

まんてんプロジェクト

JASPA 取締役 千田 泰弘

- 10月4日 板橋区が主導する航空宇宙研究会にて JASPA・まんてんの取り組みについて紹介。まんてん会員企業との交流を希望している
- 10月7日 JASPA が MOU を締結しているチェコから商工会の代表が来日し、チェコ大使館にてレセプションが行われた。JASPA 社長などが列席。
- 10月20日 欧州から航空宇宙ミッションが来日。JASPA がレセプションパーティに招待された。
- 10月26日-28日東京国際航空宇宙産業展 2011 に神奈川県が県内 28 社を集めブース展示が行われた。また 28 日には神奈川主催の中小企業のための国際カンファレンス国際カンファレンス「世界の航空機産業への参入戦略と事例～日本の中小企業もチャンスを生かせ～」が開催された。県の展示は、航空宇宙用の世界初の素材の展示など神奈川新聞、日本物流新聞などで大きく報じられた。また国際カンファレンスは、チェコの中小企業による小型航空機の取り組み、カナダケベック州での中小企業による航空機研究開発の取り組み、日米共同発表による欧米の航空機市場に参入するための提案など、新鮮な話題提供と具体的提案が好評であった。なお、展示会、カンファレンスとも JASPA が神奈川県からの委託を受け実施した。

シフト21 [【http://shift21.jimdo.com/】](http://shift21.jimdo.com/)

有村 知里

11月定例会は、「自己分析からはじめる人生設計」をテーマに、整理収納アドバイザー・インテリアオーガナイザーの利根川貴巳様にお話をお伺いしました。情報・モノがあふれているときだからこそ、自分自身のライフスタイルを見つめなおし、「頭の中・モノ・時間」を整理が生活にも仕事にも大きな影響を及ぼすといえます。心理的な側面から整理整頓へのアプローチは大変参考になり、リバウンドしないきれいな空間作りを目指せそう。

12月定例会は「プロジェクト推進の課題とヒント」をパーミエーション・青木盛夫様にお話いただきます。プロジェクトの大小に関らず成功・失敗には共通点があります。プロジェクトマネージャーとして豊富な経験をもち、プロジェクト管理コンサルタントとして活躍されている青木様に事例から学びます。

シフト21は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループとして、業種や業態を問わない幅広い交流を目的に定例会（原則第2火曜日）を開催しております。ゲスト参加大歓迎です。

お問合せは有村まで。(arimura-c@nifty.com)



< シフト21 >

新年プレゼン交流会 2012 (2012年1月28日(土)開催) ～プレゼン・展示・懇親会～

- 日時： ・2012年1月28日(土)14:30 受付
- 会場： ・かながわ労働プラザ 4階 5・6・7会議室
- 内容： ・14時30分受付・展示ブース開場
・15時～17時プレゼンテーション
・17時15分～19時 懇親会(立食、名刺交換・ご歓談)

10社限定、1社あたり5分間
参加者全員による30秒自己紹介も有り

- 定員： 70名 ■参加費： 3,000円/名
展示ブース利用料 1,000円/社(1社机1本、申込先着10社のみ)
プレゼンテーション参加費 1,000円/社(1社5分間、申込先着10社のみ)



- お申込みは 異業種交流会シフト21事務局 有村まで arimura-c@nifty.com 携帯 090-1854-5334
シフト21 <http://shift21.jimdo.com/> フェイスブック <http://www.facebook.com/shift21.yokohama>

第123回・日韓ビジネス協議会開催案内

高橋導徳

1. 日時：2011年11月30日(水) 午後3時00分～5時15分 協議会、～6時15分まで懇親会
2. 場所： 神奈川中小企業センタービル・・・5階 会議室
かながわ異業種交流センター(異業種グループ連絡会議) TEL: 045-633-5142
3. 内容：

- 「2011産業技術フェア(ソウル)開催 紹介」
(財)日韓産業技術協力財団 日韓中小企業情報交流センター所長 初瀬川 茂氏
- 韓国・大邱 日韓ビジネス交流会の報告
(有)ホンダマシン 代表取締役 本田武士氏
- 「部品素材工団投資訪韓ミッション実施 紹介」
(財)日韓産業技術協力財団 部長 北林 均氏

<メイン講師>

タイトル：「大不況下における中小零細卸の成功事例報告」

堀内税理士事務所 所長 堀内 龍文氏

*五反田に事務所を開設し、クライアント様にサービスを提供する傍ら、
一般社団法人日本卸売協会の事業推進マネージャーとして、
日本の流通に対する調査研究、人材育成事業の推進に関与。

第122回協議会は下記内容で開催いたしました。<参加者： 20名> 10月26日(水)

- 会社紹介：就職関連アンズ・ヒューマン・ロジャーズ株式会社 代表取締役 藤原さゆり氏
採用(入学)～メンタルヘルスケア～キャリア支援を円環的にサポート
していく「人財発見・創出企業」
- ベトナム関連：「ベトナムの小売・流通事情～現地日系企業の事例と今後の展望」
株式会社 アクティブリッジ コンサルタント 池邊正一朗氏
- 「まんてんプロジェクト」の最近の動向 会長・・・瀧澤 清氏

<メイン講演>「東西経済回廊を往く」(インドシナ半島の縦断)

EWEC: East-West

Economic Corridor 児玉英二氏

経済発展および先進諸国からの投資は物流を如何に効率的に行うかが今後の課題

異グ連理事会報告（10月12日）

- 1、活動報告 ①総会（6月29日）以降の経過報告
 ②岩手県支援活動について
 ③県内中小企業見学ツアーについて
 ④ものづくりの将来性についての意見交換

1、人材プロジェクト・・・9月13日～14日 関東学院大学生18名+山崎講師、新井、芝
 その他、山勝電子工業・宝電気工業・マエダ・協立電機工業・
 ピーズスタッフ・宿泊旅館様などのご協力を得て企業見学。
 11月2日懇親会、学生からの貴重な意見が飛び交う。

2、第4回新事業・新技術支援フォーラム
 スターリングエンジンの報告、NEDO：5,000万円補助金獲得
 原発に代替える地域立脚型新エネルギーについて
 9月27日 風力発電システムの提案（発表者：鈴木稔）

3、岩手支援活動 **評価については1面をご覧ください**

県内支援団体連絡会の開催を検討

- 4、地域サロン 西湘医療福祉フォーラム、横浜、西湘、三浦半島、川崎、海老名
 5、野毛活性化プロジェクト・・・街づくり会の組織変更・野毛大道芸（10月1日～2日）
 6、インドネシア研修（10月21日）
 7、湘南地域異業種交流会スタート（9月27日）、厚木商工会議所からの講演依頼（12月19日）
 8、製造懇談会の見直し
 9、神奈川県産業技術センター「ものづくり技術交流会」
 10、サポート倶楽部、お葬式案内センター（セミナー開催：1,000枚のチラシ配布継続）
 11、秋田・横浜交流企画（首都圏と秋田をつなぐフェスティバル in 横浜）など
 12、中小企業施策ガイドブック
 13、東京都産業技術センターの移転と連携策

- 2、財団との協議に関して
 3、神奈川県異グ連の新たな事業展開について
 4、異グ連ニュース発行の態勢の変更と強化策について

【 今月のスケジュール 】

詳細は Web : 「湘南みかん」
 で検索

11/12	17	19	22	25	26	12/2	3
秋田と首都圏をつなぐ フェスティバル イン横浜	三浦半島 経済人サロン	みかん狩り （SOS法人湘南スタイル）	西湘サロン （箱根湯本）	川崎 経済人ネットワークサロン	みかん狩り （SOS法人湘南スタイル）	海老名 サロン	みかん狩り （SOS法人湘南スタイル）

産学官交流サロンコーナー

	尾上町サロン	西湘サロン 第35回	三浦半島経済人サロン 第47回	かわさき経済人ネット ワークサロン第35回
日程	原則第一・第三金曜日 17:15~19:30	11月22日(火) 15:00~17:00	11月17日(木) 18:00~20:30	11月25日(金) 18:00~20:30
場所	神奈川県中小企業センター 5階 異グ連事務所	箱根湯本 萬翠楼 福住 会議室 足柄下郡箱根町湯本643 TEL:0460-85-5531	神奈川新聞社 横須賀支社 5階会議室 横須賀市小川町21-9	川崎市産業振興会館 10F 第一会議室 川崎市幸区堀川町66-20 TEL:044-548-4111
連絡先	異グ連(芝、八幡、鈴木)	異グ連(芝、島津、吉池、)	異グ連(八幡、鶴野)	異グ連(松井、芝)
内容	自由なテーマで進行 (テーマの事前予約OK) 参加費:1,000円 ぶらり参加者大歓迎!!	人気キャラクター「ひこにゃん」を巡る、箱根市とデザイナーの争い 河野国際特許事務所:所長 弁理士 穂坂道子氏 詳細は異グ連ニュース107号をご確認下さい	災害に強い中小企業でありたい・・・BCP(事業継続計画)策定の支援 (社)神奈川県工業協会 前専務理事 田嶋洋一氏 参加費:1,000円	「新製品開発と販路開拓の挑戦」(休養専用ウェアの開発) (株)ベネクス 取締役 片野秀樹氏 参加費1,000円

* 異グ連連絡先につきましては最終ページ下部をご参照下さい

事務局のコーナー 異グ連ニュース編集担当が交代しました。 小野川様、長い間お疲れ様でした!

【担当者変更のご挨拶】

この度、かながわ異グ連ニュースの編集担当を小野川様より引継ぎました宗和(そうわ)です。今後、より良い紙面にしていく為に思うように紙面構成を進めてほしいとのご意見を賜っております。「かながわ異グ連ニュース」は多くの皆様方からのご意見や投稿、感想などを頂戴し、情報を共有する事によって未来へつながる「役立ち情報誌」となります。いちど取材に来てほしいというお声などございましたらご連絡下さい。今回引継の初回号ですので簡単に私のプロフィールを載せておきます。

<プロフィール>

宗和 正憲(そうわ まさのり) 現在46歳、妻との二人暮らし。外資系保険会社勤務
「私と出会った人は必ず幸せになる」が信条。出身地:神戸、住所:横浜市港北区
基本的に貢献することが好き。人を決して馬鹿にしない。偏見で物を見ない。
趣味:最近ではGolfにちょくちょく行くようになりました。まだ下手ですが・・・。基本はアウトドア系。時間があれば料理を作る。周りの人から料理人になれば絶対成功するので店を出せばどうかと良く言われますが個人的にはあくまで趣味の世界でいたい。こんな私です。

至らぬ点もあろうかと思いますが皆様今後ともどうぞよろしくお願い致します。

ご意見、感想などあればこちらまでお願いします。 mail masahito@ab.bb-east.ne.jp



神奈川県異業種グループ連絡会議 交流アドバイザーが詰めております、気軽にご連絡ご相談ください(無料)

【月】①②④荒 直孝 ③⑤村田和彦 【火】八幡 敬和 児玉 英二 【水】杉本 明子 (芝 忠)

【木】松井 利夫 【金】①③⑤魚崎 誠也 ②④織方盛男 【土、日、祭日】は休業

〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80 神奈川中小企業センタービル5階 神奈川異グ連事務局

T/F 045-633-5142/045-633-5194 URL: <http://www.kanagawa-iguren.com> Mail: iguren@kanagawa-iguren.com

より良い紙面にしていくため皆様からの投稿、ご意見をお待ちしております。お問い合わせ、連絡先は下記の通り。

(会報編集担当) mail masahito@ab.bb-east.ne.jp 宗和(そうわ) 携帯:090-5556-8238

神奈川異グ連への連絡問合せは、上記事務局当番者 Tel:045-633-5142 Fax:045-633-5194 まで。

平成23年11月24日

会田 英治 様

神奈川県異業種グループ連絡会議事務局 松井利夫

「かながわ異グ連ニュース」第108号の送付とお願い

前略、いつも異グ連の活動にご協力くださりまして有り難うございます。

この程、「かながわ異グ連ニュース」第108号が出来ましたのでお届けいたします。

第108号からは、編集担当が交代し紙面の刷新を図りました。なお、これを機会にニュースのお届け方法をメールで行うことにしたいと考えています。つきましては、メールアドレスをご連絡くださるようお願いいたします。

また、郵送を始めてからかなりの日にちが経っておりますので、送り先を変更して欲しいなどご要望があるのではないかと思います。もし、送り先変更その他のご要望がありましたらご連絡ください。なお、メールアドレス（送り先変更の場合も）のご連絡がない場合は送付を取り止めさせていただきますのでご了解くださるようお願いいたします。

メールアドレス、変更送り先等の連絡先は、次のところをお願いいたします。

松井 利夫（異グ連常務理事）

toshio_matsui@mve.biglobe.ne.jp

異グ連事務局 TEL 045-633-5142 FAX 045-6335192